

# 受章おめでとうございませす 春の叙勲・褒章

## 水産業振興功勞で旭日双光章受章 柴田正行さん（78歳・牛窓町鹿忍）



「漁業のことは右も左も分からず、船もボロ。あの頃は本当にきつかったです。でも多くの人に助けていただきなんとか乗り越えることができました」と就業当時を振り返る柴田さん。戦争で父親を亡くし、長男として一家を支えるため、終戦直後の14歳から漁業一筋に励んできました。そんなひた

むきな姿勢が認められ昭和31年に25歳の若さで鹿忍漁業協同組合理事になってからは、平成5年に就任した牛窓町漁業協同組合代表理事組合長を歴任。サワラの船上受精、抱卵ガサミの再放流など「獲る漁業」から「つくる漁業」への転換を進め、豊かな海づくりに力を注いできました。平成18年に岡山県漁業共済組合副組合長理事に

就任すると、ノリ養殖の先駆者としての知識を基にノリ・カキ養殖業者に対して、重点的に共済制度への加入促進を図り、経営安定に努めました。

「水揚げの減少、魚価の低迷など、漁業を取り巻く環境は年々厳しくなっています。消費者、地域と連携を強め、なんとかこの荒波を乗り越ってほしい」と漁業者へエールを送っていました。

## 消防功勞で藍綬褒章受章

### 児島直臣さん（61歳・牛窓町長浜）



昭和48年に牛窓町消防団に入団。平成15年からは牛窓町消防団長の職に就き、平成16年11月からは瀬戸内市消防団副団長、今年1月からは団長として日夜市民の生命と財産を守るため活躍しています。「この受章は、団員、その家族の皆さんの協力があってこそできたもの。本当に感謝していま

す」と恐縮しきりの児島さん。平成16年に岡山県を直撃した台風16号は、牛窓町内にもかつて経験したことのない高潮をもたらした。多くの家屋で床上・床下浸水が発生しました。児島さんは牛窓町消防団長として、全分団に的確な指示を行う一方で、被害の大きい地区では自らも土のうを積むなど被害を最小限に食い止めました。近年は、大規模な災害の発生率

が高く、ますます消防団の果たす役割が大きくなっています。その一方で、新しい団員の確保が難しく、高齢化も進んでいます。

「災害は、いつ、どこで起こるか分かりません。地域の皆さんにも『明日は我が身』として、もっと消防団の活動に関心を持ってもらうことが必要」と地域一丸の消防体制の確立に意欲を見せています。



## ●市民に信頼される病院を目指して——瀬戸内市民病院● 救急搬入台数2.1倍、手術件数1.6倍に 病院集約で入院収益8千3百万円の増

瀬戸内市民病院では、「市民に信頼される病院を目指して」を理念に、①医療の質の向上②安全・安心な医療③やさしさのある医療を基本方針に掲げ、日々診療業務に取り組んでいます。

### ●医療業務

昨年4月から病院機能を集約し、経営の改善に取り組んだ結果、19年度に比べ20年度は、救急搬入台数2.1倍、当番医来院患者数は3.2倍、手術件数は1.6倍と大幅に増加しています。特に全身麻酔の手術件数は、11.3倍となっています。入院患者数も1日の平均入院患者数は75.6人で、昨年の1.1倍となりました。

### ●医療業務の比較（平成21年3月末現在）

	19年度	20年度	倍率
救急搬入台数(台)	227	476	2.1
手術件数(件)	106	174	1.6
うち全身麻酔手術件数(件)	3	34	11.3
当番医来院患者数(人)	484	1,535	3.2
1日平均入院患者数(人)	70.3	75.6	1.1

### ●財務状況の比較（平成21年3月末現在） 単位：千円

	19年度	20年度	増減額
医業収益	1,084,837	1,122,271	37,434
入院収益	515,395	599,103	83,708
外来収益	432,867	429,248	△3,619
その他	136,575	93,920	△42,655
医業外収益他	161,383	151,431	△9,952
収益計	1,246,220	1,273,702	27,482
医業費用	1,331,082	1,209,765	△121,317
給与費	850,132	738,889	△111,243
材料費	298,559	302,983	4,424
その他	182,391	167,893	△14,498
医業外費用他	44,207	30,429	△13,778
費用計	1,375,289	1,240,194	△135,095
純利益(収益-費用)	△129,069	33,508	162,577

### ●財務状況

平成21年3月末現在で平成20年度の市民病院の財務状況は、収益は外来収益が若干減少したものの入院収益が約8千3百万円増加し、費用は材料費が増加しましたが、給与費が約1億1千万円減少し、病院機能を集約したことにより、約1億6千万円の経営改善の効果が出ています。これにより、平成20年度の決算は約3千3百万円の黒字に転換する見込みです。